



InterSafe CATS Ver5.2.4 コンフリクト回避策

2024.07

アルプスシステムインテグレーション株式会社

© Alps System Integration Co., Ltd. All rights reserved.



- [Apex One](#)
- [ウイルスバスター ビジネスセキュリティ](#)
- [ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス](#)
- [Symantec Endpoint Protection](#)
- [ノートンセキュリティ デラックス/プレミアム](#)
- [Kaspersky Endpoint Security](#)
- [カスペルスキーインターネットセキュリティ](#)
- [マカフィートータルプロテクション](#)
- [Zoom](#)
- [Webex](#)
- [Microsoft 365 Apps for business](#)
- [OneDrive](#)
- [Windowsウィジェット](#)
- [Microsoft Teams](#)

【事象】

ApexOneクライアントのスマートスキャン使用不可となる(図1)

【発生条件】

InterSafe CATSとApexOne同居時

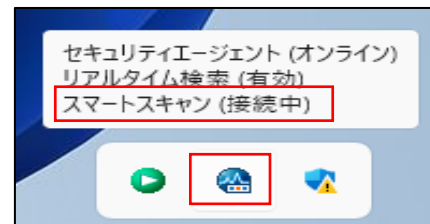
【回避策】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ>許可カテゴリ」へ登録

<http://<サーバIPアドレス>:8080/ss/q/>

※ カテゴリは未分類だが、未分類を許可しても有効とならない

(図1)



【事象】

ウイルスバスター ビジネスセキュリティのスマートスキャンが使用不可(図1)

【発生条件】

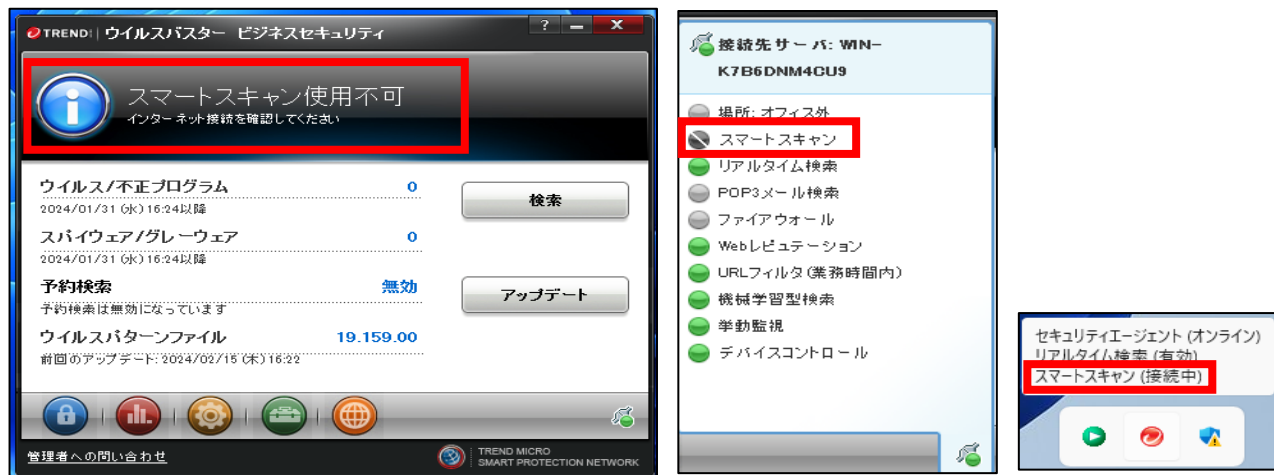
InterSafe CATSとウイルスバスター ビジネスセキュリティ同居時

【回避策】

以下ホストを「フィルタリングルール共通設定>HTTPSフィルタリング設定>除外ホスト」へ登録

*.trendmicro.com

(図1)



【事象】

ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービスのスマートスキャンが使用不可(図1)

【発生条件】

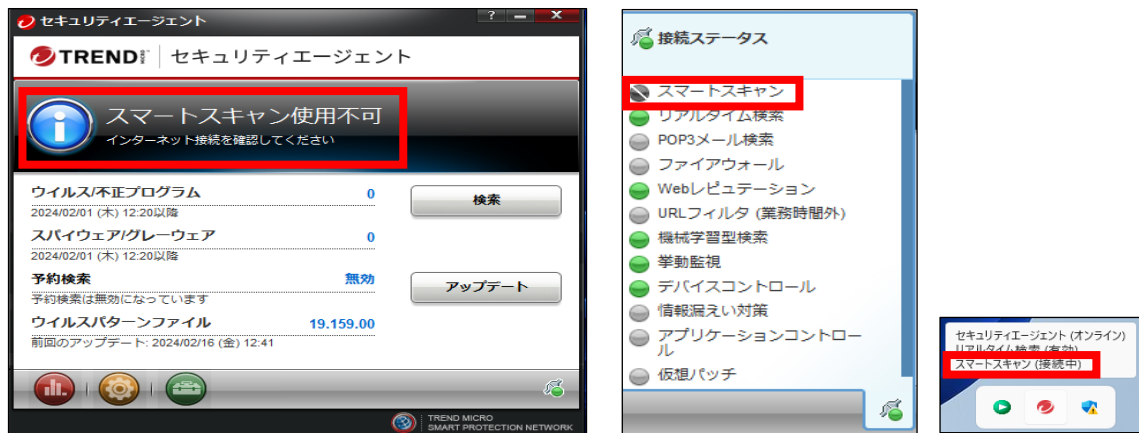
InterSafe CATSとウイルスバスター ビジネスセキュリティ同居時

【回避策】

「ITサービス>IT」カテゴリを許可としたうえで、
以下ホストを「フィルタリングルール共通設定>HTTPSフィルタリング設定>除外ホスト」へ登録

*.trendmicro.com

(図1)



【事象】

Symantec Endpoint Protectionを起動時、証明書不正警告ダイアログが表示されポリシーのダウンロードに失敗する(図1)

【発生条件】

InterSafe CATSとSymantec Endpoint Protection同居時

【回避策1】

HTTPSデコードの除外ホストに証明書不正警告ダイアログに表示されるSNIを登録する

[xxxx-Symantec](#)

以下カテゴリを許可に設定する
未分類URL（その他全て）

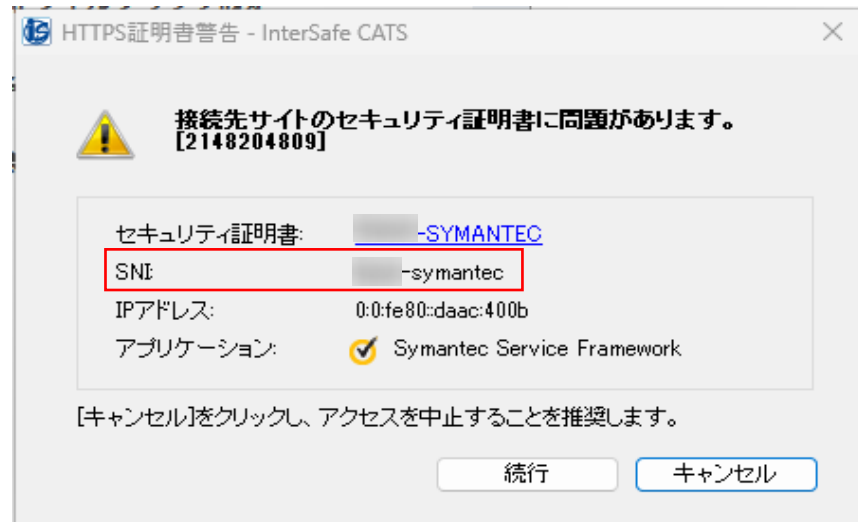
(図1)

【回避策2】

HTTPSデコードの除外ホストに証明書不正警告ダイアログに表示されるSNIを登録する

[xxxx-Symantec](#)

以下URLを例外URL設定の許可カテゴリに登録する
<https://xxxx-symantec/>



【事象1】

InterSafe CATS先行インストール時にインストールが行えない(図1)

【発生条件】

以下順序にてインストールした場合に発生

- 1.InterSafe CATS
- 2.ノートンセキュリティ

【回避策1】

以下フォルダを「フィルタリングルール共通設定> フィルタリング無効アプリケーション」へ「フォルダ名」にて登録
:¥Program Files¥Norton Security¥

【回避策2】

以下カテゴリを許可に設定する

システムコンテンツ> CDNサーバ

※LookupサーバログにはCDNサーバは出力されていないが、
通信リストのログから判断した

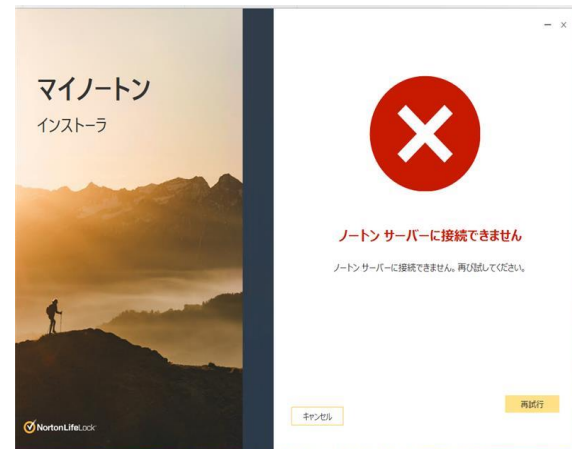
【回避策3】

例外URLの「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」に以下URLを登録する

<https://static.nortoncdn.com>

※Lookupサーバログには出力されていないが、通信リストのログから判断した

(図1)



【事象2】

ノートンセキュリティのログインが行えない(図2)

【発生条件】

InterSafe CATSとノートンセキュリティ同居時

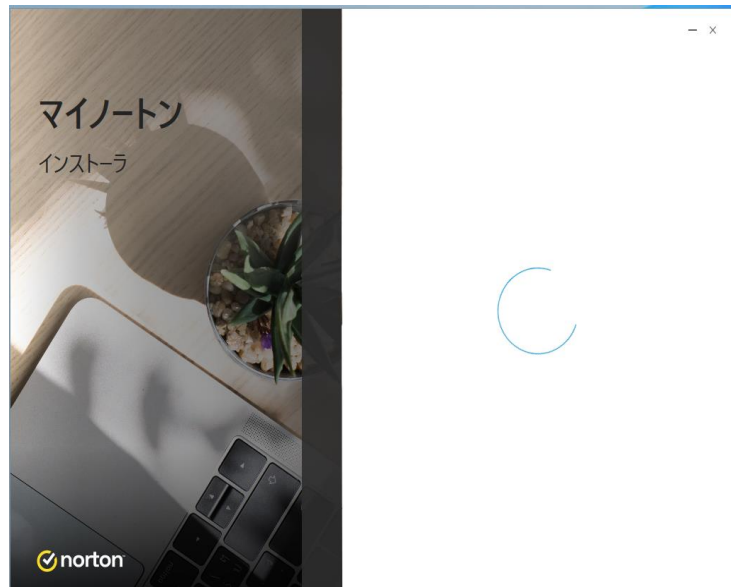
【回避策】

以下カテゴリを許可に設定する

[システムコンテンツ](#)>[CDNサーバ](#)

※LookupサーバログにはCDNサーバは出力されていないが、
通信リストのログから判断した

(図2)



【事象1】

KasperskyEndpointSecurityアップデートが行えない(図1)

【発生条件】

InterSafe CATSとKasperskyEndpointSecurity同居時

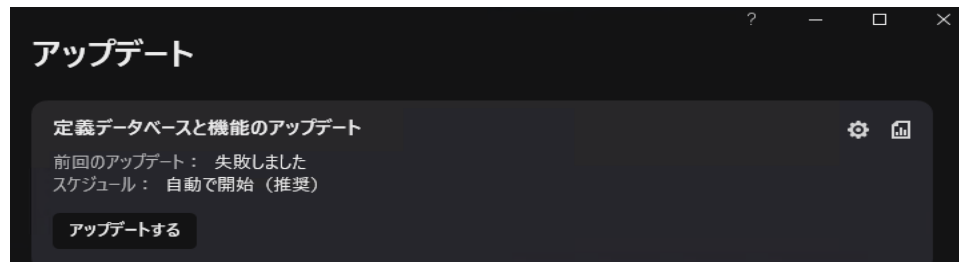
【回避策】

HTTPSデコードの除外ホストに以下を登録する

*[.upd.kaspersky.com](https://upd.kaspersky.com)

(downloads.upd.kaspersky.comでは不正証明書が表示されてしまう)

(図1)



【事象2】

Kaspersky Endpoint Security for Windowsのアクティベーションに失敗する(図2、図3)

【発生条件】

InterSafe CATSとKasperskyEndpointSecurity同居時

【再現手順】

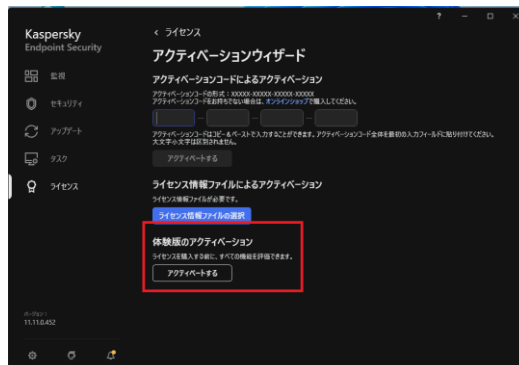
1. タブでライセンスを選択し、「新規ライセンスによる製品のアクティベーション」を選択する
2. 「体験版のアクティベーション」からアクティベーションを行う

【回避策】

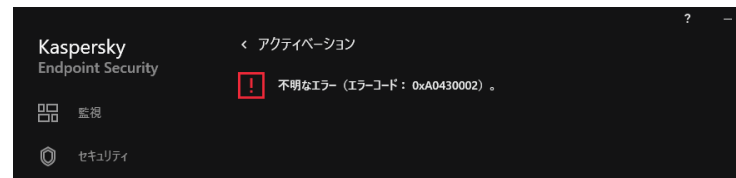
以下ホストを「フィルタリングルール共通設定>HTTPSフィルタリング設定>除外ホスト」へ登録

*activation-v2.kaspersky.com

(図2)



(図3)



【事象3】

Kaspersky Endpoint Security for Windows起動時に証明書不正警告エラーダイアログが表示される（図4,5,6）

【発生条件】

InterSafe CATSとKasperskyEndpointSecurity同居時

【回避策】

HTTPSデコードの除外ホストに以下を登録する

touch.kaspersky.com

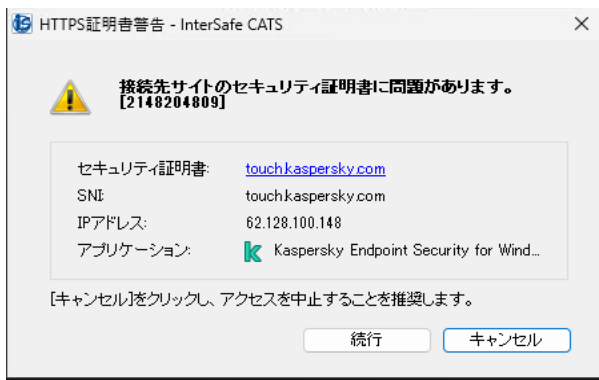
ds.kaspersky.com

*.kaspersky-labs.com

(図4)



(図5)



(図6)



【事象】

複数の証明書不正警告ダイアログが表示される(図1)

【発生条件1】

以下順序でインストールした場合

1. InterSafe CATS
2. マカフィーータータルプロテクション

【発生条件2】

Spicaクライアントとマカフィーータータルプロテクション同居時

※インストール順は問わない

【回避策1】

HTTPSデコードの除外ホストに証明書不正警告ダイアログに表示されるIPアドレスを登録する

13.113.20.59

3.113.144.18

※IPアドレスは変わる場合がある為、ダイアログに表示されたIPアドレスを都度登録する必要がある(図2)

【回避策2】

フィルタリング無効アプリケーションに以下をファイル名で登録する

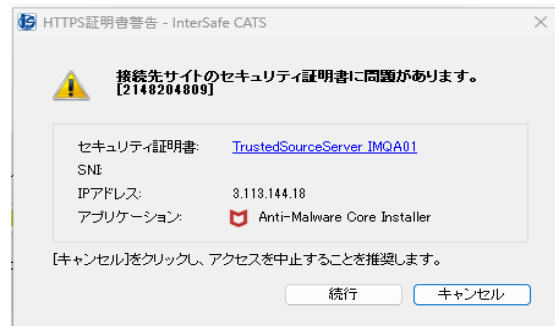
mcdatrep

mfeamcin

(図1)



(図2)



【事象1】

カスペルスキーインターネットセキュリティのアップデートに失敗する(図1)

【発生条件】

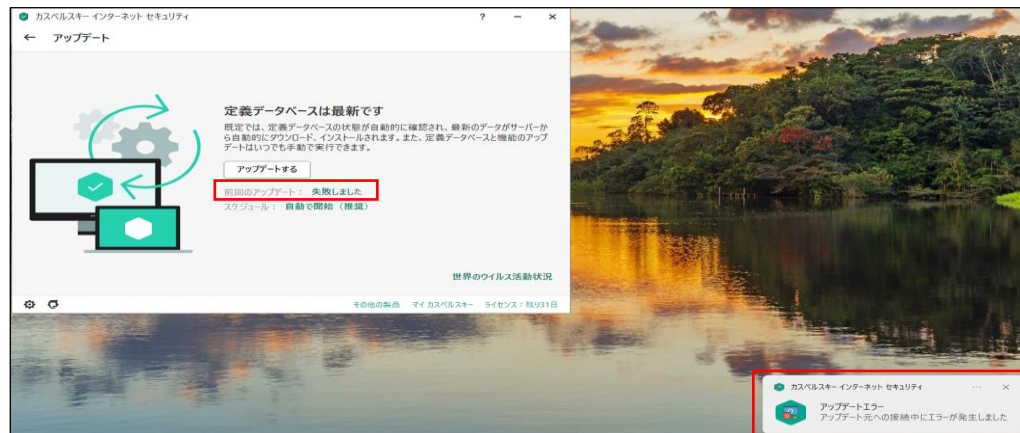
InterSafe CATSとカスペルスキーインターネットセキュリティ同居時

【回避策】

以下ホストを「フィルタリングルール共通設定＞HTTPSフィルタリング設定＞除外ホスト」へ登録

*.kaspersky.com

(図1)



【事象2】

マイカスペルスキーにログインできない(図2)

【発生条件】

InterSafe CATSとカスペルスキーインターネットセキュリティ同居時

【回避策】

HTTPSデコードの除外ホストに以下を登録する

*.kaspersky-labs.com

*.kaspersky.com

(図2)



【事象3】

カスペルスキーインターネットセキュリティのアクティベーションが行えない(図3)

【発生条件】

InterSafe CATSとカスペルスキーインターネットセキュリティ同居時

【回避策】

HTTPSデコードの除外ホストに以下を登録する

*[.kaspersky.com](https://kaspersky.com)

(図3)



【事象4】

複数の証明書不正警告ダイアログが表示される(図4)

【発生条件】

InterSafe CATSとカスペルスキーインターネットセキュリティ同居時

【回避策1】

以下ホストを「フィルタリングルール共通設定＞HTTPSフィルタリング設定＞除外ホスト」へ登録

*.kaspersky.com

*.kaspersky-labs.com

afproxypod.northeurope.cloudapp.azure.com

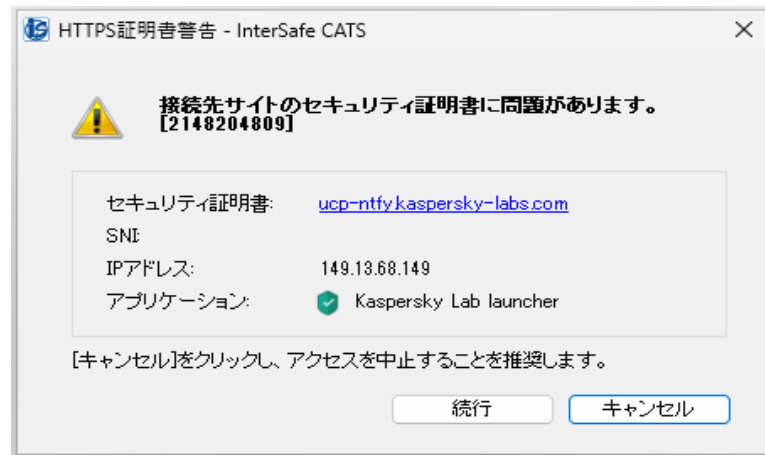
(図4)

【回避策2】

フィルタリング無効アプリケーションに以下をファイル名で登録する

avp

※【事象4】 [回避策2]の設定で、【事象1~3】も回避可能



【事象1】

Zoomが接続中のままとなり、メッセージ送信や通話が行えない(図1)

【発生条件】

以下順序でインストールした場合

- 1.Zoom
- 2.InterSafe CATS

【回避策1】

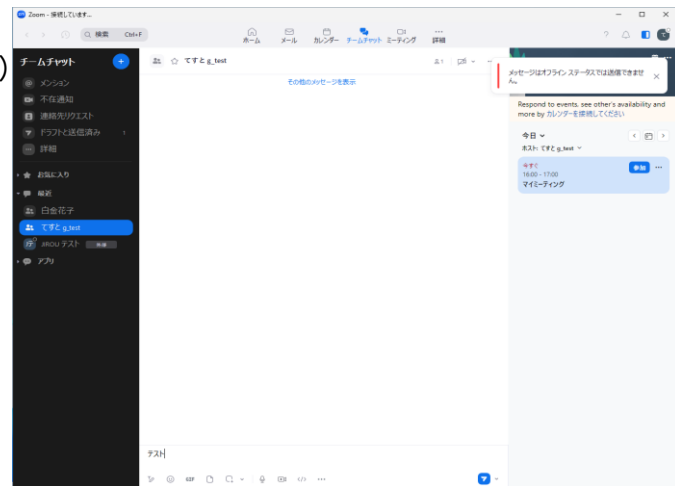
以下アプリケーションを「フィルタリングルール共通設定>
フィルタリング無効アプリケーション設定> 無効アプリケーション」へ登録
Zoom

【回避策2】

以下ホストを「フィルタリングルール共通設定> HTTPSフィルタリング設定> 除外ホスト」へ登録する

*.zoom.us

(図1)



【事象1】

Webexへのサインインが行えない(図1)

【発生条件】

以下順序でインストールした場合

- 1.Webex
- 2.InterSafe CATS

【回避策1】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」へ登録

https://*.wbx2.com/

【回避策2】

以下カテゴリを許可する

「システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ」

(図1)



【事象2】

Webexにて個別ユーザへのメッセージ送信が行えない(図2)

【発生条件】

以下順序でインストールした場合

- 1.Webex
- 2.InterSafe CATS

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

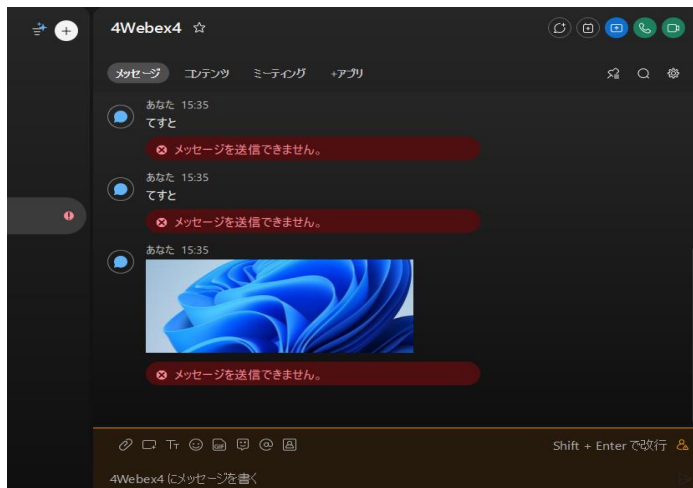
「システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ」

【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」に以下URLを登録する

https://*.wbx2.com/

(図2)



【事象3】

Webexにて対象ユーザを個別スペースに追加できない(図3)

【発生条件】

以下順序でインストールした場合

- 1.Webex
- 2.InterSafe CATS

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

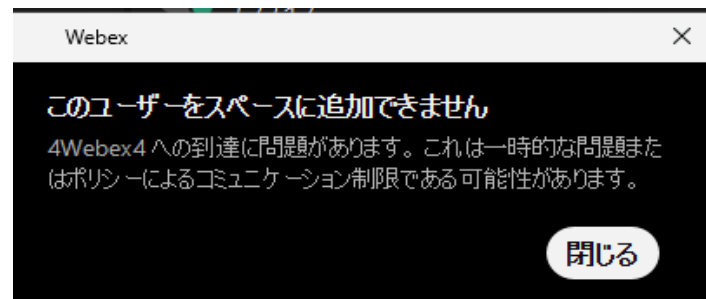
「システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ」

【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」に以下URLを登録する

https://*.wbx2.com/

(図3)



【事象4】

Webexにて個別ユーザとの音声/ビデオ通話/コンテンツの共有が行えない(図4)

【発生条件】

以下順序でインストールした場合

- 1.Webex
- 2.InterSafe CATS

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

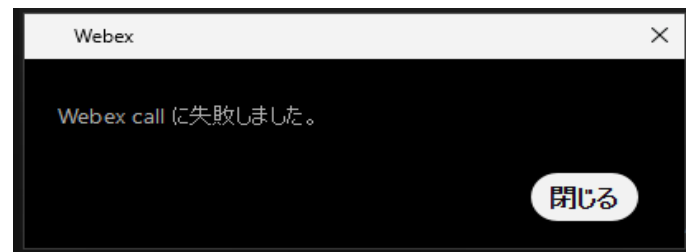
「システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ」

【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」に以下URLを登録する

https://*.wbx2.com/

(図4)



【事象1】

Microsoft365へのサインイン不可(図1)

【発生条件】

以下順序でインストールした場合

1. Microsoft365
2. InterSafe CATS

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

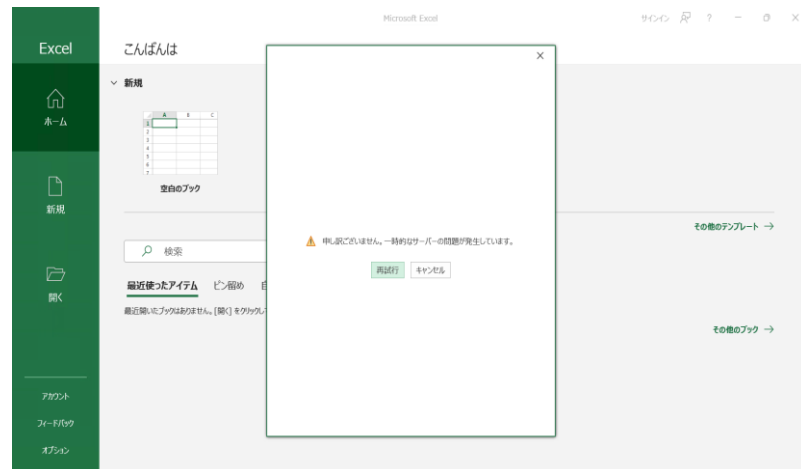
「システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ」
「プロバイダ・ポータル・ホスティング> ホスティング」
システムコンテンツ> CDNサーバ

【回避策2】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」へ登録

<https://odc.officeapps.live.com/>
<https://intranetstar-my.sharepoint.com/>
<https://aadcdn.msauth.net/>
<https://aadcdn.msftauth.net/>
<https://autodiscover-s.outlook.com/>

(図1)



【事象2】

一部機能が制限される場合がある(図2)
(ライセンスのない製品と表示される)

【発生条件】

以下順序でインストールした場合

1. Microsoft365
2. InterSafe CATS

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

「システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ」
「プロバイダ・ポータル・ホスティング> ホスティング」
システムコンテンツ> CDNサーバ

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」へ登録

<https://odc.officeapps.live.com/>
<https://intranetstar-my.sharepoint.com/>
<https://aadcdn.msauth.net/>
<https://aadcdn.msftauth.net/>
<https://autodiscover-s.outlook.com/>
<https://ols.officeapps.live.com/>

(図2)



【事象2】

ファイルの保存先にOneDriveを追加してサインイン、保存が行えない

(図3)

【発生条件】

以下順序でインストールした場合

1. Microsoft365
2. InterSafe CATS

【手順】

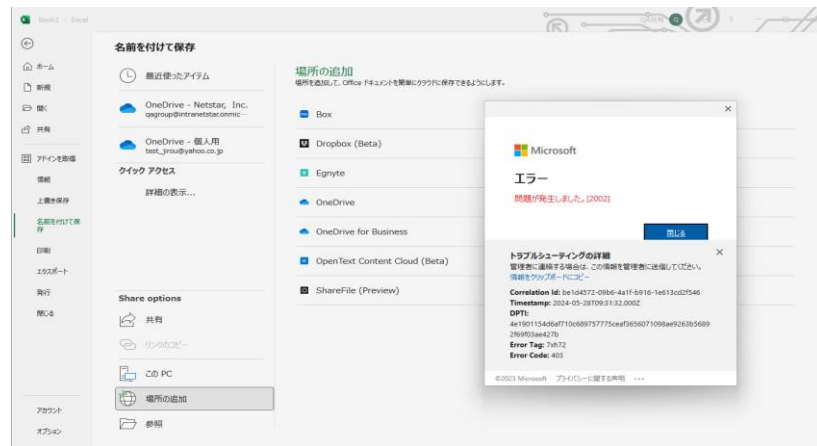
1. Microsoft365へサインインする
2. 新規作成する
3. 「ファイル」タブ>「名前を付けて保存」>「場所の追加」> OneDrive を選択する

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

「システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ」
システムコンテンツ> CDNサーバ

※OneDrive for Businessの場合、以下カテゴリを許可に設定する
プロバイダ・ポータル・ホスティング > ホスティング
システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ



【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ>許可カテゴリ」に以下URLを登録する

<https://odc.officeapps.live.com/>

<https://logincdn.msauth.net/>

<https://logincdn.msftauth.net/>

※OneDrive for Businessの場合、以下URLを登録する

<https://odc.officeapps.live.com/>

<https://intranetstar-my.sharepoint.com/>

<https://graph.microsoft.com/>

【事象】

OneDriveへのサインイン/同期設定に失敗する(図1)

【発生条件】

以下順序でインストールした場合

1. Microsoft OneDrive
2. InterSafe CATS

【回避策1】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」へ登録

<https://go.microsoft.com/>
<https://odc.officeapps.live.com/>
<https://mobile.pipe.aria.microsoft.com/>
<https://mobile.pipe.aria.microsoft.com/>

【回避策2】

以下アプリケーションを「フィルタリングルール共通設定>
フィルタリング無効アプリケーション設定> 無効アプリケーション」へ登録

- ・ Windows10、Windows11

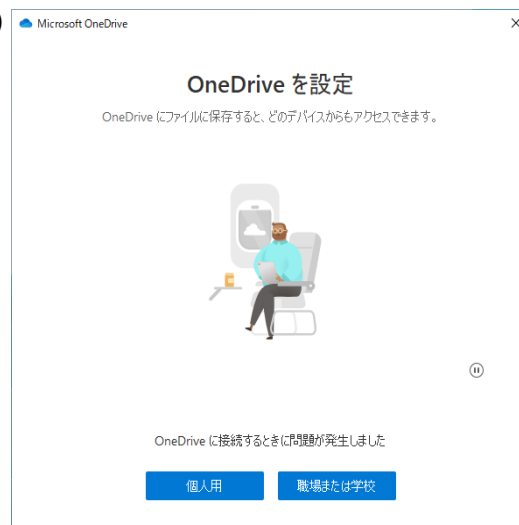
OneDrive

【回避策3】

以下カテゴリを許可する

「システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ」
「システムコンテンツ> CDNサーバ」

(図1)



【事象1】

各ウィジェット内のサマリやニュース内容が表示されない(図1)

【発生条件】

InterSafe CATSとWindowsウィジェット同居時

【回避策1】

以下カテゴリを許可に設定する

システムコンテンツ> イメージサーバ

システムコンテンツ> CDNサーバ

システムコンテンツ> その他のコンテンツ

コミュニケーション> ウェブメール

【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ>許可カテゴリ」に以下URLを登録する

https://*.msn.com/

https://*.microsoft.com/

<https://c.bing.com/>

<https://img-s-msn-com.akamaized.net/>

<https://ecn.dev.virtualearth.net/>

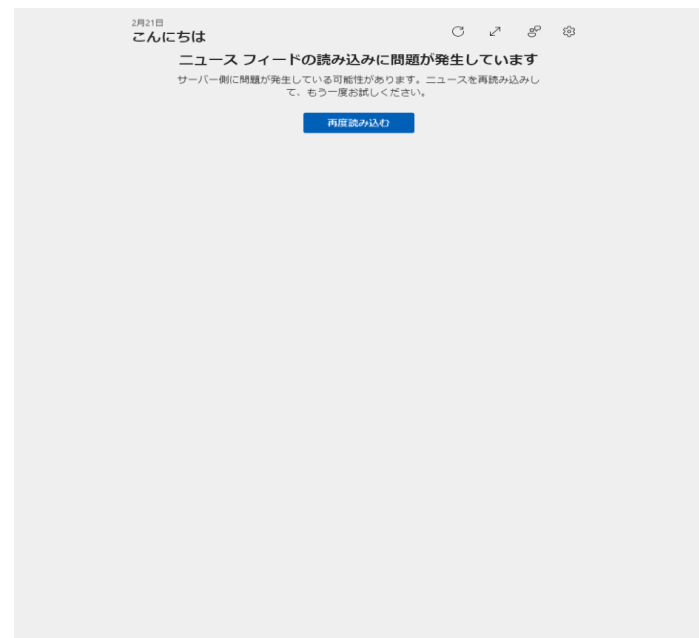
<https://outlook.live.com/>

【回避策3】

フィルタリング無効アプリケーションに以下ファイル名で登録する

msedgewebview2

(図1)



【事象2】

「その他のウィジェットを検索する」をタップしMicrosoft Storeアプリを起動するとエラーとなる(図2)

【発生条件】

InterSafe CATSとWindowsウィジェット同居時

(図2)

【手順】

- 1.[Windows]キー+[W]キーでウィジェットボードを表示する
- 2.ウィジェットを追加の[+]キーをタップする
- 3.「その他のウィジェットを検索する」をタップする

【回避策1】

以下カテゴリを許可する

- 「システムコンテンツ> イメージサーバ」
- 「システムコンテンツ> CDNサーバ」
- 「システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ」
- コミュニケーション> ウェブメール
- 趣味と娯楽> ゲーム



【回避策2】

例外URLの「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」に以下URLを登録する

https://*.msn.com/

https://*.microsoft.com/

<https://c.bing.com/>

<https://img-s-msn-com.akamaized.net/>

<https://ecn.dev.virtualearth.net/>

<https://outlook.live.com/>

<https://store-images.s-microsoft.com/>

<https://images-eds-ssl.xboxlive.com/>

<https://musicart.xboxlive.com/>

【事象1】

Teamsへのサインインに失敗する(図1)

【発生条件】

InterSafe CATSとTeams同居時

【回避策1】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」へ登録

<https://odc.officeapps.live.com/>

<https://logincdn.msauth.net/>

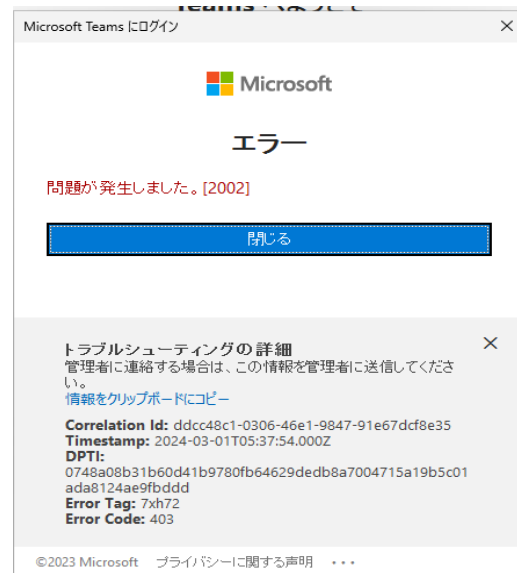
【回避策2】

以下カテゴリを許可する

「システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ」

「システムコンテンツ> CDNサーバ」

(図1)



【事象2】

Teamsにてエラー画面が表示される(図2)

【発生条件】

InterSafe CATSとTeams同居時

【回避策1】

以下URLを例外URLにて「許可カテゴリ> 許可カテゴリ」へ登録

<https://statics.teams.cdn.live.net/>

【回避策2】

以下カテゴリを許可する

「システムコンテンツ> その他のシステムコンテンツ」

(図2)





もっと豊かな情報未来へ
アルシー・ソリューション

www.alsi.co.jp

